（昭和五年三月一日第三種郵便物認可）　【日刊】　昭和九年五月二十六日　新いわき　【土曜日】　第二千百八十七號　（一）

五月二十五日　夕刊

休日　日曜　祭日
一ヶ月　二十五錢
郵税十五錢　部二錢
廣告料　一行　四十錢
場所指定　弐拾錢增
發行兼編輯印刷人　半谷政吉
發行所　福島縣平町大町二三
新いわき新聞社

地下採掘の答申は滿場一致反對可決

町民に監視された昨日の平町會

公益上支障あるを認めて

平町地下採掘問題の重要案を加へて既報十數件に亘る昨二十四日の平町會は午後二時四十分開會各案の附議決定一瀉千里で最終石炭鑛區出願に對する諮問答申の件に移り委員長の報告に對して吉田五平氏から反對答申案の贊成意見があり次へで小松茂氏は贊否明瞭でない希望意見を述ぶるところあつたが大勢既に市街地下鑛區の出願を公益上支障あるものと決してゐるので磐炭の採掘及び小田吉次氏の試掘何れも別項所報の反對答申を滿場一致可決午後四時過ぎ閉會した

市街地下の採掘に斯の如き憂あり

乏しからざる實例を上げて反對に決した平町の理由

（町當局の提案）磐城炭鑛株式會社出願石炭採掘願の件昭和四年十一月二十五日及昭和七年六月二十五日本町會に於て其筋よりの諮問に對し絶對安全を期し難きを以て公益上支障あるものと認むるの決議により之れが答申をなしたるに今回更に仙台鑛山監督局長より本縣知事に對し照會越したる趣きを以て本町の意見を求められたり仍て愼重之れが調査を遂げたるに採掘鑛區の一部（月見町、三倉町）は現に人家稠密の市街地にして其の他の地區も漸次市街地を形成し發展しつゝある現狀なるを以て該地域の地下採掘は本町公益上支障あるものと認む、よつて町會の意見を諮ふ。

理由

平町新川町以北の市街地は採掘區域にあらざるも新川以南の月見町、三倉、倉前町、新田前の如き現に連亘櫛比の市街地を包含せり今や本町は內務大臣の指定を受け都市計畫進行中に在り郊外地に屬する小太郎町三崎、堂根町、菱川は既に第四小學校、公會堂建設の豫定地として土地買收に着手し之れが建築の計畫中に有之且つ水害除去のため關係地方民の多年熱望したる縣費支辨たる新川の改修も本年度着工明年度に於て竣功の豫定を以て買收の交渉を開始し古來水害に苦みつゝありし同郊外地も人家稠密の市街地を建設するは決して空想にあらず期年ならずして之れが實現を見るは推定するに難からずされば地下の採掘は將來地表に龜裂陷落を生ずるの虞なしと斷定するを得ず、現に平町附近の炭鑛所在地に於ける被害、其實例に乏しからず、聞くが如くんば福岡縣大牟田市街附近の炭鑛は地下採掘の深度千八百尺なりと云ふも地表に龜裂を生じ市民共の堵に安んずる能はずと、果して事實なりとせば磐城炭鑛出願の採掘は其の深度二千尺にして殘柱式にし切羽にはズリの充塡を行ひ炭柱拂掘をなさずと唱ふるも被害に對しては相當補償を支拂ふの意思を表示し出願人に於ても絶對的安全は之れを保障せず、自治公共團体たる町村は國家のあらん限り永久無限にして平町の民衆は時々刻々に龜裂陷落を生ずるの虞なしと斷定するを得ず、現に平町附近の炭鑛所在地に於ける被害、其實例に乏しからず、聞くが如くんば福岡縣大牟田市街附近の炭鑛は地下採掘の深度千八百尺なりと云ふも地表に龜裂を生じ市民共の堵に安んずる能はずと、果して事實なりとせば磐城炭鑛出願の採掘は其の深度二千尺にして殘柱式にし切羽にはズリの充塡を行ひ炭柱拂掘をなさずと唱ふるも被害に對しては相當補償を支拂ふの意思を表示し出願人に於ても絶對的安全は之れを保障せず、自治公共團体たる町村は國家のあらん限り永久無限にして平町の民衆は時々刻々

久邇宮殿下燈臺御視察

軍艦木曾に御軍務遊ばされる久邇宮殿下には今二十五日小名濱に御上陸、同地築港及び豐間村鹽谷岬燈臺並に沼の內辨天を御視察遊ばされ御機嫌麗はしく御歸艦遊ばされた、

常識講座

ペタンチックと云ふのは小賢なこと學者ぶること衒學的な事を指してそう唱へるペタントはよい意味には先生又は學校教師だが悪い意味に使へば矢張り前者と同じ樣に呼ばれもする替ることありと雖も永久無限に平町の存在を失はざるは敢て多言を要せざる所にして出願人たる會社は營利を目的とする事業なるが故に他日事業不振の結果經營難に陷り廢鑛の悲運に遭遇するか或は石炭の埋藏量に限度あり之れを掘り盡したる後に至り地表に龜裂、陷落、家屋倒壞、用水沽渴等の損害を被むるも此れを訴ふるに處なきを想へば町民の不安これより大なるはなし、此の如きは石炭採掘に因る脅威にして絶對安全を確認する能はず、之れ將來本町の發展を阻害し且つ住民の安全を期する所似にあらず、故に石炭採掘は本町公益上支障あるものと認む

平驛の貨物扱ひ高

局管內ではまだ〈

八年度統計コンマ以下が多い

大驛と匹敵はおヂやばかり

東京鐵道局全管內に於ける昨八年度の運賃收入は三千九百万圓で札幌局の三千八百万圓より百萬圓の優を示してゐるが同年度成績は門司の取扱噸數二千萬トンが最優位で東鐵の如きは千二百萬噸に止まり而して同管內の平驛は各種貨物にコンマ以下のものが多く大驛と匹敵するものは茶の到着六十五トン次は第三位に座る果實類の發送七〇三噸、砂糖の到着一七九七トン菓子類の八三五噸、第五位は石炭の到着五五九八〇トン第六位乾物類の着二〇九噸で局統計に掲載される中驛の仲間入りをしてゐる貨物の大体は左記の如くである

發送大豆四五（着四八一）甘藷（七五一）野菜四三八（四六八）柑橘九四（六九三）果實七〇三（七三三）丸太（六三〇四）木材類二一六一本炭六六一石材（一五一八）石炭八二（五五九八〇）コークス一二七（七二一）機械油（一九七）石油（一三二）鐵及鋼一七九〇（一二三一）食鹽八四三（一八六五）鹽干魚二七八（七六三）鮮魚類一〇〇（一四四）砂糖一一八（一七九七）醬油一六一（五六六）乾物（二〇九）茶（六五）煙草七四（四〇七）清酒三〇三（五二二）菓子（八三五）國定教科書二三（四八）以上トン單位諸弧內は到着

試掘願の反對答申

小田吉次氏の出願に係る

平町地下の石炭鑛區に對し小田吉次氏から出願された同町會の諮問答申は昨二十四日左記の如く公益上障害あるものと認むるに決した

小田吉次より平町地內（月見町を除く）石炭試掘願出に關し所轄鑛山監督局長より本縣廳を經由し公益上支障の有無に付き意見を求められたり依て之れを調査するに出願區は人家稠密の市街地にして新川以南の郊外地も益々發展膨張且つ都市計畫の進行に伴ひ各種建設物の增設等市街地形成の現場にあるを以て本町將來の發展を阻害し且つ住民の安全を期する所似にあらず故に本町公益上支障あるものと認む

農村産業組合

（6）

內務省社會局

從つて、拂込み濟出資金、準備金諸積立金を加へる自給運轉資金は三億七千二百五十九萬五千九百五十八圓となり借入金、貯金を合せる他給運轉資金は十四億六千五百九十一萬五千五百十一圓、自給、他給を合せる運轉資金の總額は實に十八億三千八百五十一萬一千四百六十九圓に上る、資金のことを書いた序に、組合の預り金、現金、有價證券の三つを合計せる余裕金を見よう、何れも上に記した順序に四億二千一百四十六萬九千圓、一億九百五十三萬三千圓二千七百五十四萬二千圓となり、その總計は五億五千八百五十四萬五千余圓となり、給合の手許は昭和七年十二月末現在を底とし、漸次樂になつてきてゐる、

經濟團体である產業組合の資金が豐富になることは良いが、單にそればかりではゆかぬ信用事業の跛行的發達はむしろ我國產業組合の缺陷でさへあつたのである、產業組合に許された信用事業の外に、販賣、購買、利用の諸事業が併行して進むことが望ましい

かゝる見地から八年十二月末に終了した組合事業（それは貨幣價値に換算したものであるが）を觀れば次の通りである、

八年販賣高二六一七二五千圓　購買高一五四六三六千圓　利用高六五八六千圓

七年販賣高一九八九六六千圓　購買高一二六〇九八千圓　利用高五六五二千圓

兩年の比較販賣六二七五八千圓　購買二八五三七千圓　利用九三四千圓（增加）

海軍記念日に七濱廻り

佐賀學舍から九十名の自轉車隊

平町磐城佐賀學舍では明後二十七日の海軍記念日に於て有意義なる催を協議されてゐたが非常時局認識强調の一助に松本講師を隊長とする一行九十餘名の自轉車隊を編成し各車毎に日章旗及びZ旗を翻して石城七濱を一巡する由であるが順路は左の如くであると

校庭集合午前八時出發…平公園內忠魂碑參拜、皇居遙拜、万才三唱…內郷村綴から湯本を經て小名濱着中畫中の作…江名…豐間…高久飯野を經て平着（月見町南端で午後四時解散）

海軍機の負傷者

何れも經過良好

昨二十四日江名海岸に墜落した海軍機の重傷者島田大尉並に輕傷の三浦特務中尉何れも平町南町上田病院に入院加療中であるが重傷者は不明瞭の意識を完全に復し輕傷者は頗る元氣であるが腰を强打してゐるので全治には相當時日を要するものと見られ島田大尉も餘病併發なき限り健康に回るものと診られてゐる

委任統治の南洋講演

來る二十八日平町マルトモホールで

平町土曜クラブに於ける例會は來る二十八日午後七時マルトモホールに於て催されるが今回の講演は隣郡双葉（富岡）の出身で南洋廳トナペ郵便局に奉職する吉田定雄氏から南洋委任統治の諸問題に關するもので座談會もあるらしく當日は一般の來聽をも歡迎する由である

五錢奉仕會醵金

（奉仕各位）

金十錢齋藤彌一郎　金二十錢鈴崎清一　金二十錢佐藤伊太郎　金八十錢山野邊東次郎　合計一圓三十錢　累計金六十三圓五十八錢（以上平庶民金庫現在預入額）

農業百話

品種改良の話

(三六)　農試本場　天辰生

而も殿様蛙、ひき蛙、土蛙と異なれば述つた通り卵子を生んだ親と同じものに生長するし、鯉の卵子から鮒が育つことは決してない、かく考へて來ると後々發展して行くべき形態機能の一切の秘密は擧げてこの受精卵と云ふこともさゝやかな小體の中に凝縮されてゐる如く見える、事實そうであつて授精した卵子がその兩親とどんな關係にあるかを探究するのが遺傳學の根本命題である、

細胞は分裂すると云つた、生殖細胞も生殖母細胞から分裂して出來るわけである、それでは細ぼうはどんな工合に分裂するかと云ふことになるとこの邊の說明には圖解の助けが必要になるけれども極めて概略な說明で要點だけをのみ込んでもらいばいゝのだから圖解は省略する、先づ體細ぼうと生殖細ぼうとでは大變趣きが違ふことを記憶して貰はねばならない、けれども兩方とも問題は核の內部にあるのだから前に述べた核に注意を集めて見よう、分裂を開始しない普通の細ぼう內ではその核は液體の滿ちた嚢狀體でその中を貫いて網狀の物質が分布しその網の目には多數の小さい顆粒が散布してゐる、この顆粒狀の物質は或る色素ではよく染まる性質があるために染色質と稱してゐる、かうした靜止狀態にある細ぼうが分裂を開始すると先づ核の中に異狀が起きて來る、染色質は多數一ヶ所に集つて一塊りになる、之を染色體と云つて今日では遺傳の本體は悉くこれに宿つてゐることが判つたゝめに非常な重要性を帶びて來たものである、

紺屋町　平町
藤沼醫院
電話五〇七番

パラソルと日傘
例年御定評を頂く當店特選の
優秀な新柄を豊富に取揃いて
ツルヤ　電一四〇

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關內正一　平町二丁目　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

(磐城共濟病院)　福島縣平町電六四一
內科、小兒科　院長　醫學博士　石山謙郎　(電話六四一番)
產婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二　(電話三七〇番)
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　齋藤七五三男　(電話一七二番)
皮膚泌尿器病科花柳病科　醫學士　前澤正
X光線科　醫學博士　石山謙郎
物療科　技術員　高後利雄
術生試驗所　獸醫　吉本孝平
藥劑師　藥局　事務長　鈴木寶雄
(每日午前八時より午後十時迄診療)
◎…病室完備…入院隨意…◎

產婦人科院　長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　玄番彌一
平町新川町九一
入院隨意　病室完備　木村病院
電話一六四番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三三屋　平町田町

東神火災保險株式會社
東京動產火災保險株式會社
横濱生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所　福島縣平町七丁目　電話三二九番　二九五番
本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目

店員、徒弟、募集廣告
小店員　五名
資格　年齡…十三四才より十六才位まで
學歷…尋常科卒業又は以上のこと
優待方法　優待制度の外特別優待方法あり
徒弟　拾名
家具職として理想的製作方法を望む人
資格　年齡…十三四才より十六才位まで
學歷…尋常科卒業又は以上のこと
修業後の收入(一ヶ月五十圓以上百圓位)
◎御希望者は至急御面談又は御問合せを乞ふ
營業所　平町三丁目　電話三五九番
和洋家具製作販賣設計請負
丸はん商店
製作所　平町新田前　電話一八二番

貸手車
新規物を格安にお讓も致します
平町大町若松醫院隣
半谷

靜岡本場小笠銘茶
大角園特約
半谷商店
平町大町若松醫院隣

新設、電話二二一番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一一
上原家政婦會
(產婆)　上原通子

自家醬油製造
諸原料(種麹菌カラメル)
特約販賣　山野邊藥局
平町五丁目角

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

和洋家具
金物
呂屋
良品廉價は
磐城平町五丁目

◎一般印刷物も御引受致します◎
新いわき新聞社